

県内初

紙おむつのサブスク 全額補助

市内の認可保育園・認定こども園（幼稚園型除く）、公立保育園に紙おむつのサブスクを導入することで保護者と保育士の負担を軽減し、保育サービスの向上を図る施策を実施します。また、市ではこの紙おむつのサブスクの利用料を全額補助し、子育て世代を応援します。

紙おむつのサブスクとは

保育施設において、月額定額の利用料を支払うことで、業者より直接施設へ紙おむつとおしりふきが届けられ、使い放題となるおむつのサブスクサービスです。

※サブスクとは…「サブスクリプション」の略語で、定額制で一定期間、商品やサービスが利用できる仕組みのことです。

事業内容

○対象施設

市内の認可保育園・認定こども園（幼稚園型除く）、公立保育園

※託児所などの事業所内保育所は、県の管轄のため本事業の対象外

○対象者

0歳～2歳児の保護者

○開始月

令和6年10月

○利用の申し込み

入園している園へお申し込みください。

※園により提供するおむつのサブスクサービスが異なります。



おむつのサブスク導入のメリット

○従来

現在、保護者はおむつに子どもの名前を書いて保育園等へ持参しており、手間がかかるだけでなく、荷物が増えて負担になっています。



○改善！！

おむつに名前を書く手間が省け、持っていくことを忘れる心配もありません。登園時のおむつの準備や荷物の負担軽減になります。

◇保育士もうれしい

園児ごとのおむつの残数確認や、履かせ間違いなど、おむつの管理が不要となり、保育士業務の負担を軽減することができます。

◇担当者からの一言

この施策は経済的な支援だけでなく、負担の軽減により保護者や保育士の子どもと向き合う時間が増えることで、子どもたちの笑顔につながると嬉しいです。



▲サブスク利用前
園児ごとのおむつを管理



▲サブスク導入後

おむつのサブスク推進事業の予算

○事業費 4,096千円

企業版ふるさと納税を活用しています

問 健康福祉部児童家庭課 67-1817